

平成27年度第1回元気な地域を考える首長研究会

H27. 6. 30(東京)



Part 1

普及最前線の報告・検証

Part 2

元気づくりシステムを活用した
行政課題解決への取組み

《ヘルスプロモーションを活用した地域課題解決システム》

“元気づくりシステム” ～基本と原則～

【ミッション】

民間パワー(自助・共助)と自治体(公助)とのコラボレーションにより
住民エンパワメントを育成し、地域課題を解決する。

“元気づくり体験”

《基本と原則》

皆で科学・生理学的に根拠のある
身体活動を確実に行うことで、
元気になりたい元気でいたい、
さらにはライフスタイルとして
楽しみたいとする「QOL」の概念
を、住民が横断的に共有する。

システム運用でQOL
(QOS)を実現しやすく

“システムコーディネート”

《基本と原則》

自治体または自治体から信頼される民間パ
ートナーが、自助→共助への初期介入から
共助と公助の進化、進展に適応する介入まで
地域住民とともに“元気づくり体験”
をライフスタイルとして取り入れ楽しみ
価値を共有する。そして目的を見失わず
支え育む環境を“元気づくりシステム”
として整え、システムティックに運営する。

QOS

基本と原則

【エンパワメント】

地域住民による
地域住民のための
豊かな地域づくり

“自治体としての政策”

《基本と原則》

“元気づくりシステム”によって引き出された
地域住民のパワーを、民間パートナー(不採算部門
そして非営利部門を付託された)と自治体が
協働しベクトルを合わせることで、山積する
地域課題の解決にチャレンジする。

《例》

- 医療・・・在宅医療化推進
- 介護
- 子育て
- 災害
- 見守り他

【共有化・協働化】

まいまい
運動
《準備・整理》

3種の
神技

5呼吸
10種の
ストレッチ

球技の基本技

【共有化・協働化】

●元気リーダーコース

・永続的自主活動コース: 週2回

●継続へのフォローコース

- ・駅コース(年4回介入)
- ・情報交換会(隔月介入)

・3か月介入コース(いきいき元気リーダーコース)

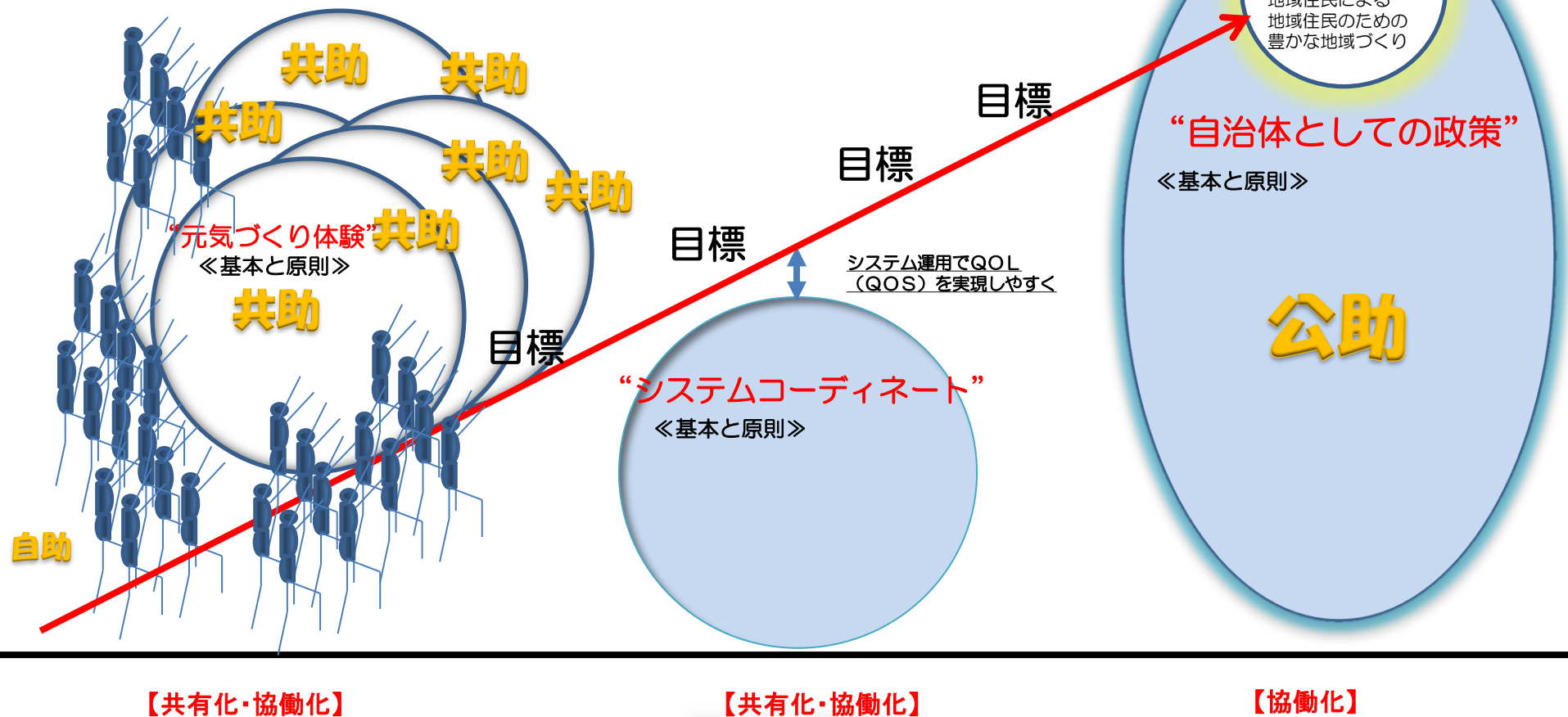
・不定期見守り

・その他(拠点コース等)

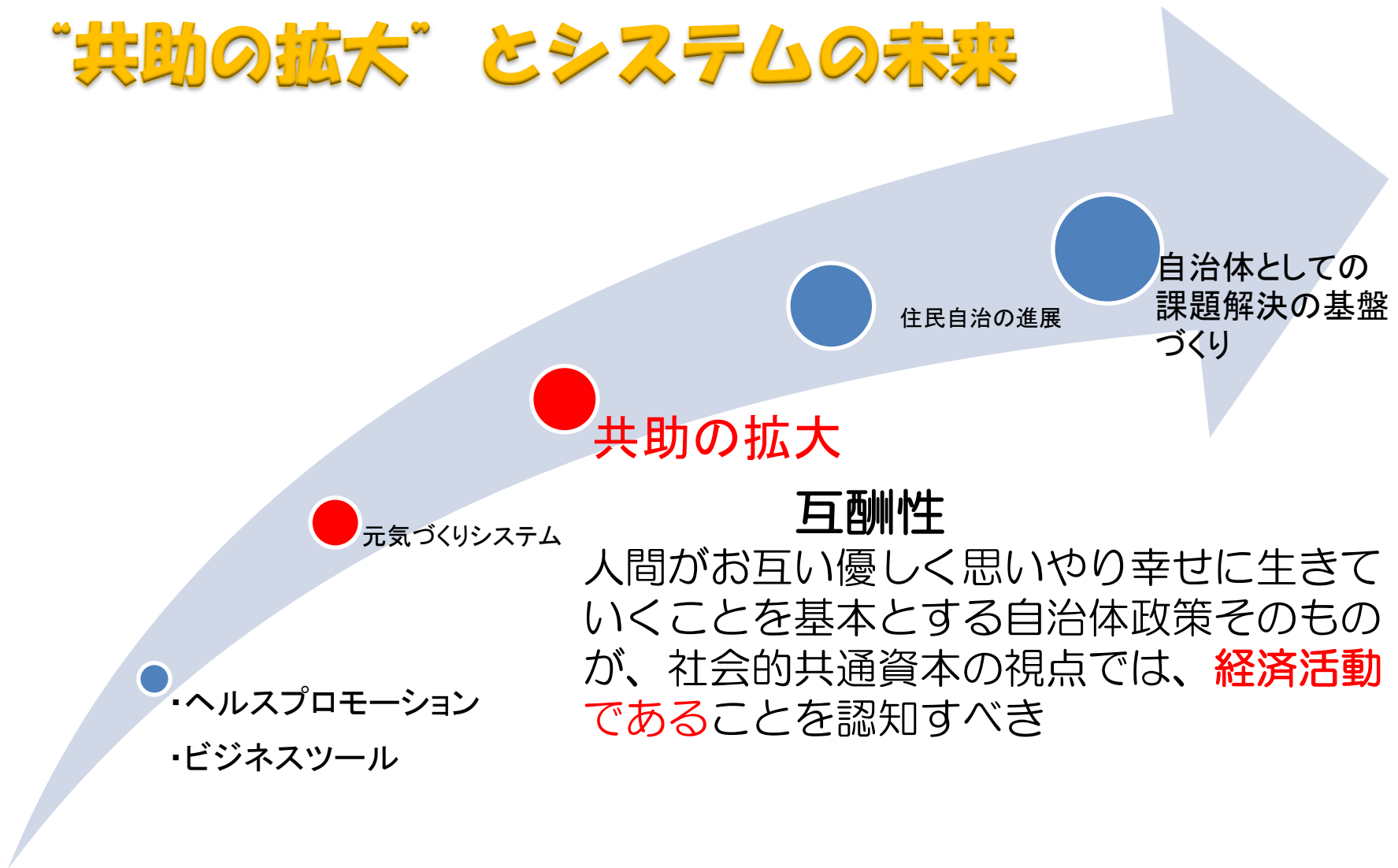
【共有化・協働化】

“共助の拡大”

【ミッション】



“共助の拡大” とシステムの未来



～超高齢化社会を目前に、地域住民が協働して共助の拡大を促し、地域創生まちづくりを展開する～

“共助の拡大” と住民(地域)自治

目的

QOS

【エンパワーメント】
地域住民による
地域住民のための
豊かな地域づくり

自治体としての
課題解決の基盤づくり

全国市町村が元気づくりシステム
導入に投資して

災害

教育

環境

など地域課題解決にチャレンジする
理由

公助

互酬性

人間がお互い優しく思いやり幸せに生きていくことを
基本とする自治体政策そのものが、社会的共通資本の
視点では、経済活動であることを認知する

共助

共助

共助

共助

共助

共助

自助